資料３

千曲市高齢者生活・介護に関する実態調査等
調査結果報告書概要版

令和８年９月

千　曲　市

目　次

Ⅰ　調査の概要……1
　１　調査の目的……1
　２　調査対象……1
　３　調査期間……1
　４　調査方法……1
　５　回収状況……1
　６　調査結果の表示方法……1

Ⅱ　調査結果……2
　１　高齢者実態調査……2
　　１　地域での活動について……4
　　２　健康・介護予防について……12
　　３　認知症について……13
　　４　高齢者施策について……14
　２　居宅要介護・要支援認定者等……17
　　１　からだを動かすことについて……21
　　２　地域での活動について……23
　　３　助け合いについて……27
　　４　認知症について……28
　　５　安心・安全の地域づくりについて……30
　　６　介護の状況について……31
　　７　高齢者施策について……36

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

市内高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する意向等に関する調査を実施し、次期計画策定等に向けた基礎資料とする。

2　調査対象

元気高齢者実態調査：要介護・要支援認定を受けていない高齢者のうち、保険者が性別・年齢階層を考慮して抽出した者

居宅要介護・要支援認定者等実態調査　：居宅の要介護・要支援認定を受けている被保険者（第２号被保険者を含む）及びその介護者

3　調査期間

令和 7 年 12 月 1 日～12 月 19 日

4　調査方法

直接配布回収

5　回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
元気高齢者実態調査	400件	321件	80.3%
居宅要介護・要支援認定者等実態調査	2,415件	1,724件	71.4%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。

・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

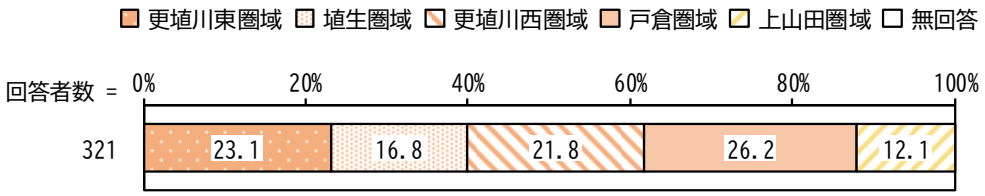
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ　調査結果

1　高齢者実態調査

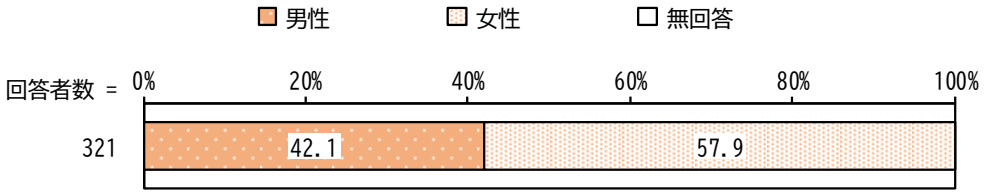
■日常生活圏域（居住地区）

「戸倉圏域」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「更埴川東圏域」の割合が 23.1%、「更埴川西圏域」の割合が 21.8%となっています。



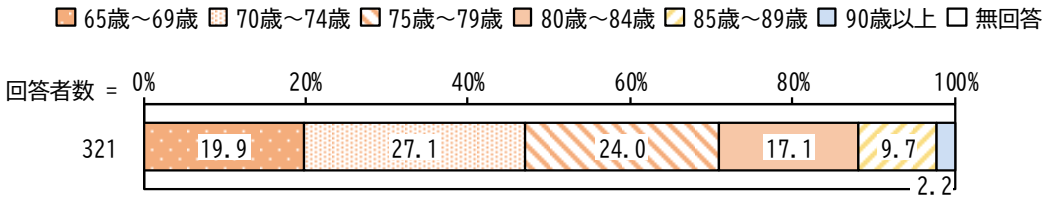
■性別

「男性」の割合が 42.1%、「女性」の割合が 57.9%となっています。



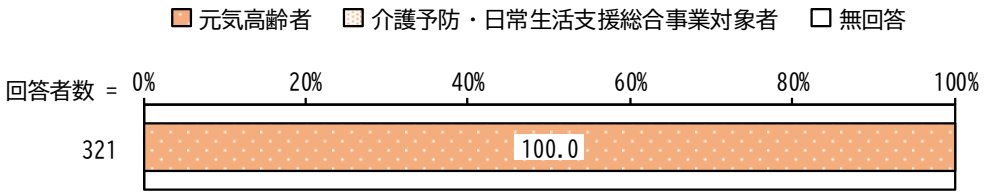
■年齢

「70 歳～74 歳」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「75 歳～79 歳」の割合が 24.0%、「65 歳～69 歳」の割合が 19.9%となっています。



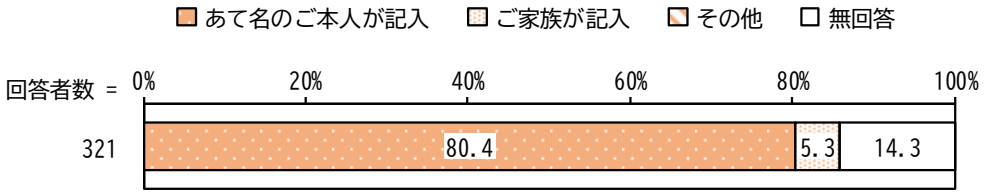
■介護予防・日常生活支援総合事業の対象者

「元気高齢者」の割合が 100.0%となっています。



■調査票の記入者

「あて名のご本人が記入」の割合が 80.4%、「ご家族が記入」の割合が 5.3%となっています。

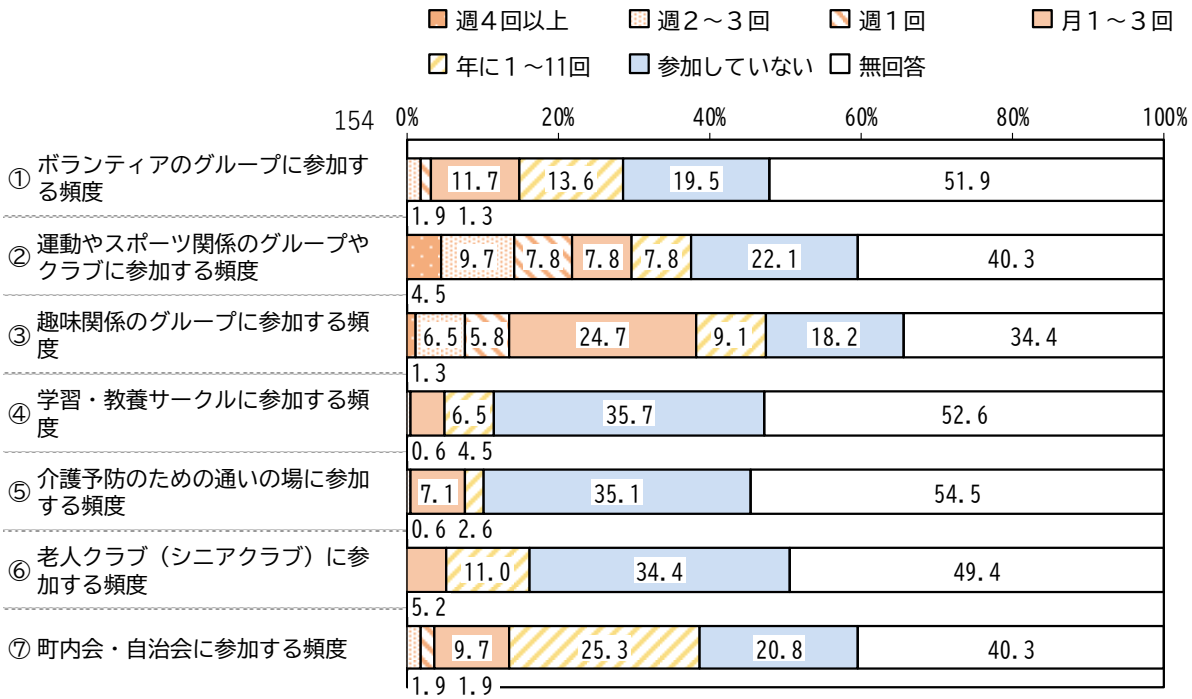


1　地域での活動について

問 18 で「1　参加している」とお答えの方におたずねします。

問 18－1　地域の会やグループに、どのくらいの頻度で参加していますか。
（○は１つずつ）

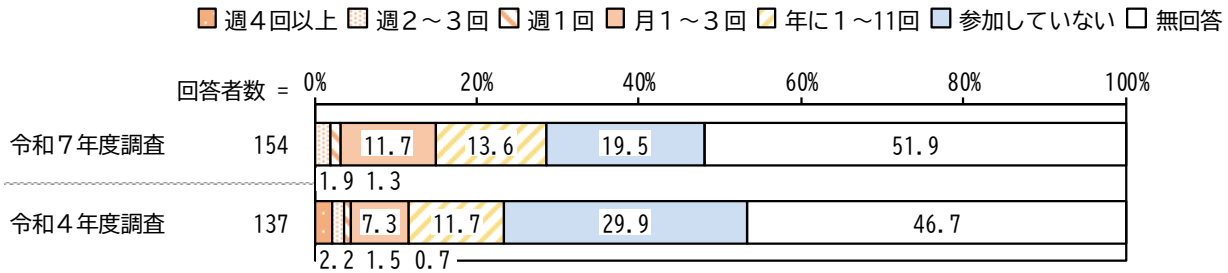
『②運動やスポーツ関係のグループやクラブに参加する頻度』で「週４回以上」「週２～３回」「週１回」が、『③趣味関係のグループに参加する頻度』で「月１～３回」が、『⑦町内会・自治会に参加する頻度』で「年に１～11 回」が、『④学習・教養サークルに参加する頻度』で「参加していない」が高くなっています。



①ボランティアのグループ

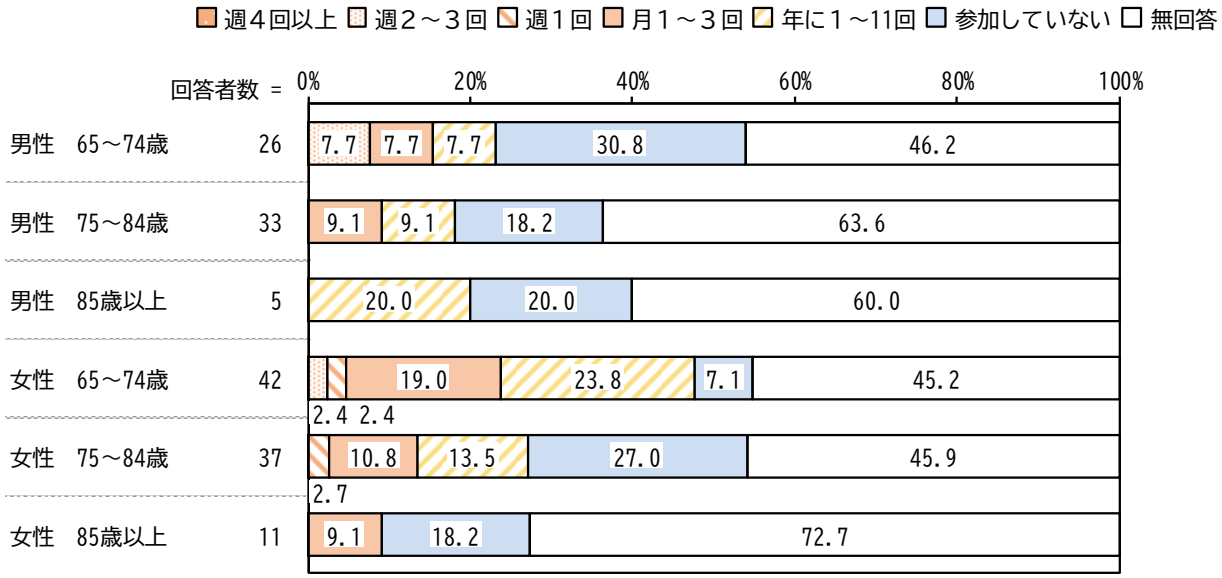
【経年比較】

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

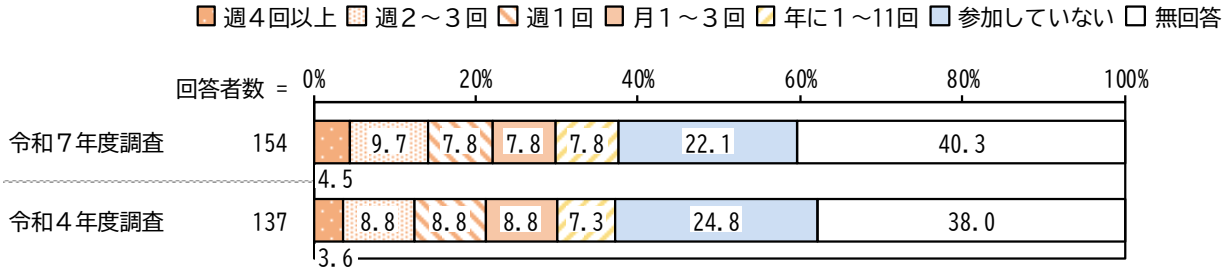
性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



②運動やスポーツ関係のグループやクラブ

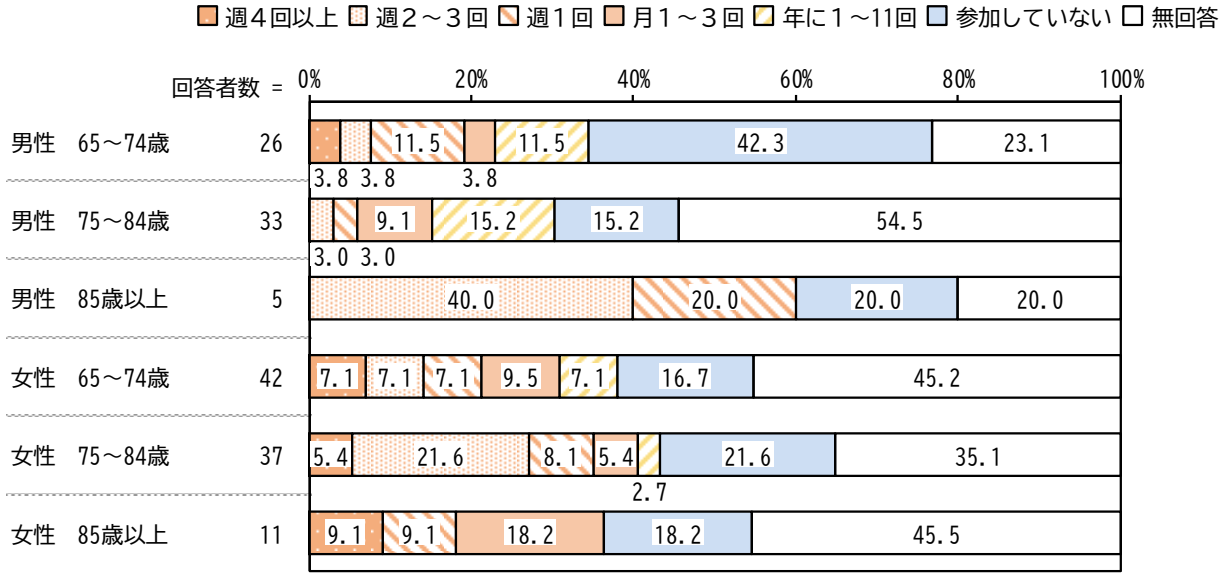
「参加していない」の割合が 22.1%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

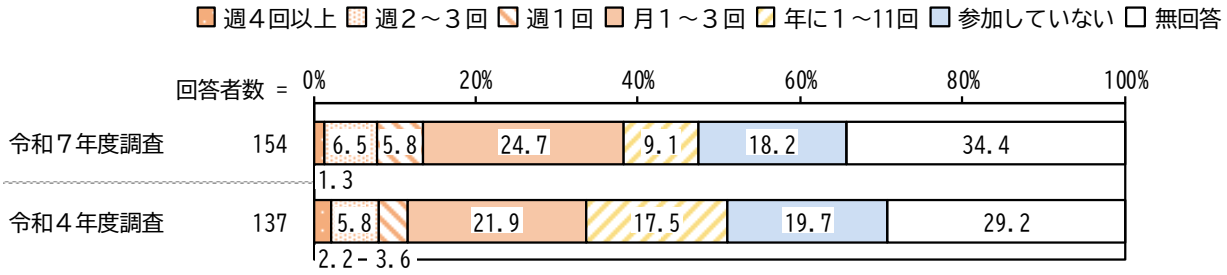
性・年齢別にみると、女性 75～84 歳で“週１回以上”、男性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



③趣味関係のグループ

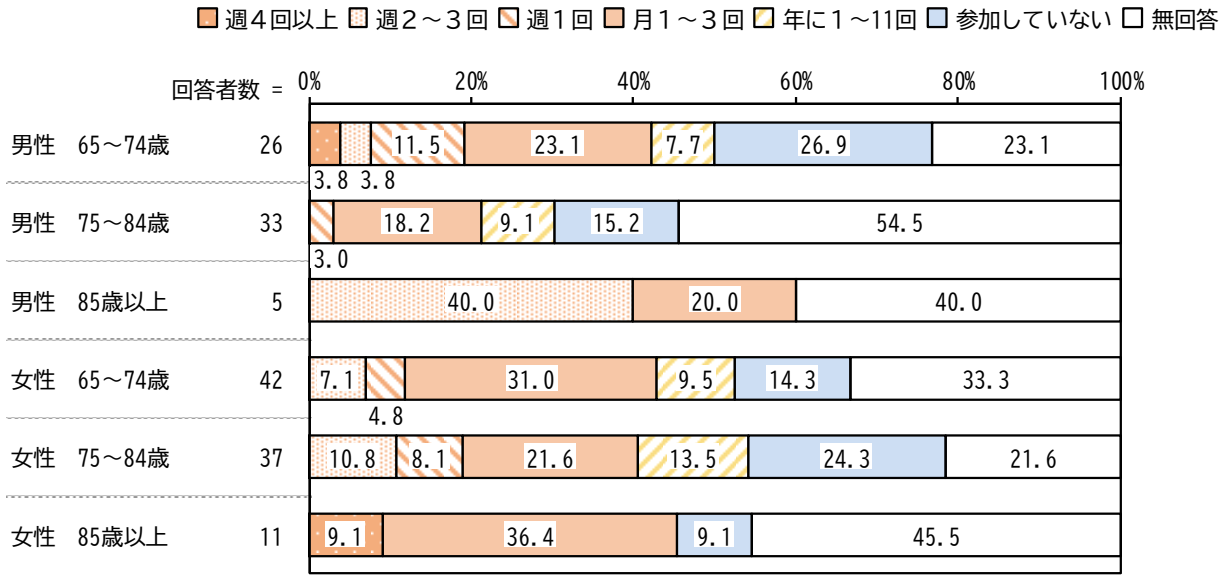
「月１～３回」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が 18.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「年に１～11 回」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

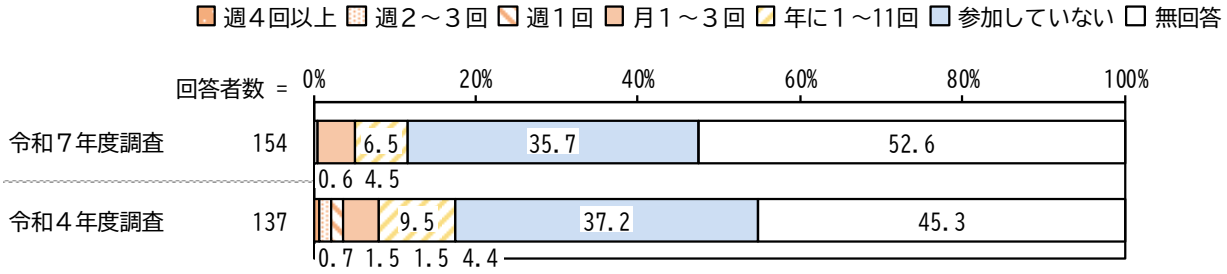
性・年齢別にみると、男性 75～84 歳で“週１回以上”の割合が低くなっています。



④学習・教養サークル

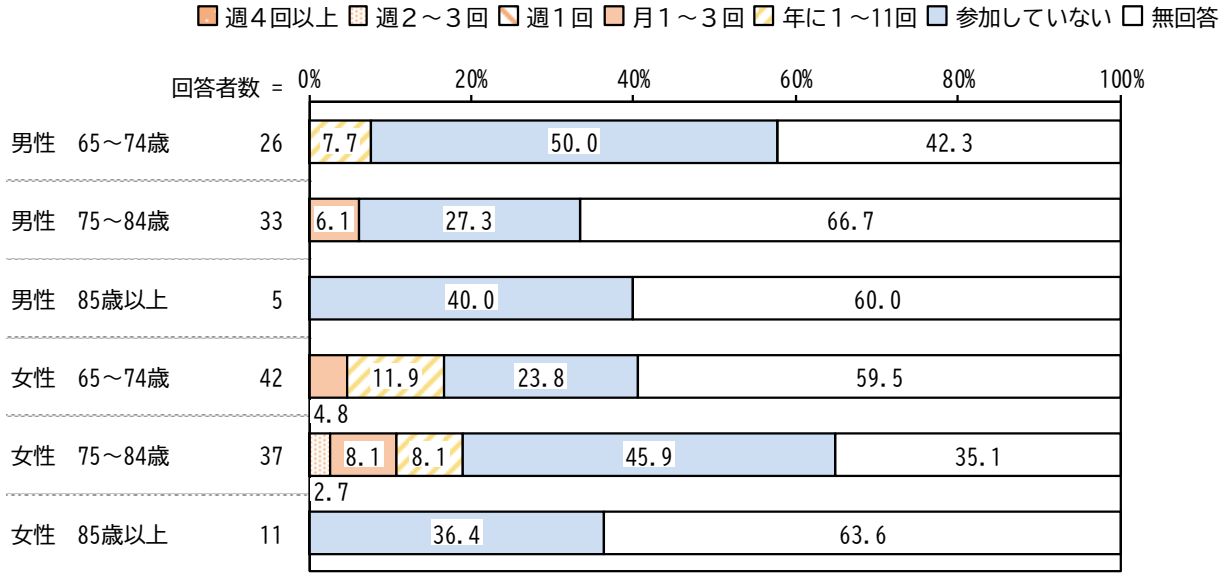
「参加していない」の割合が 35.7%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

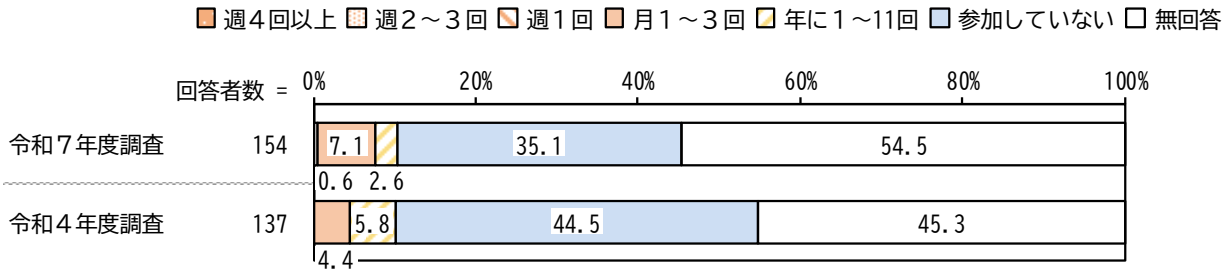
性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑤介護予防のための通いの場（元気なつどい等）

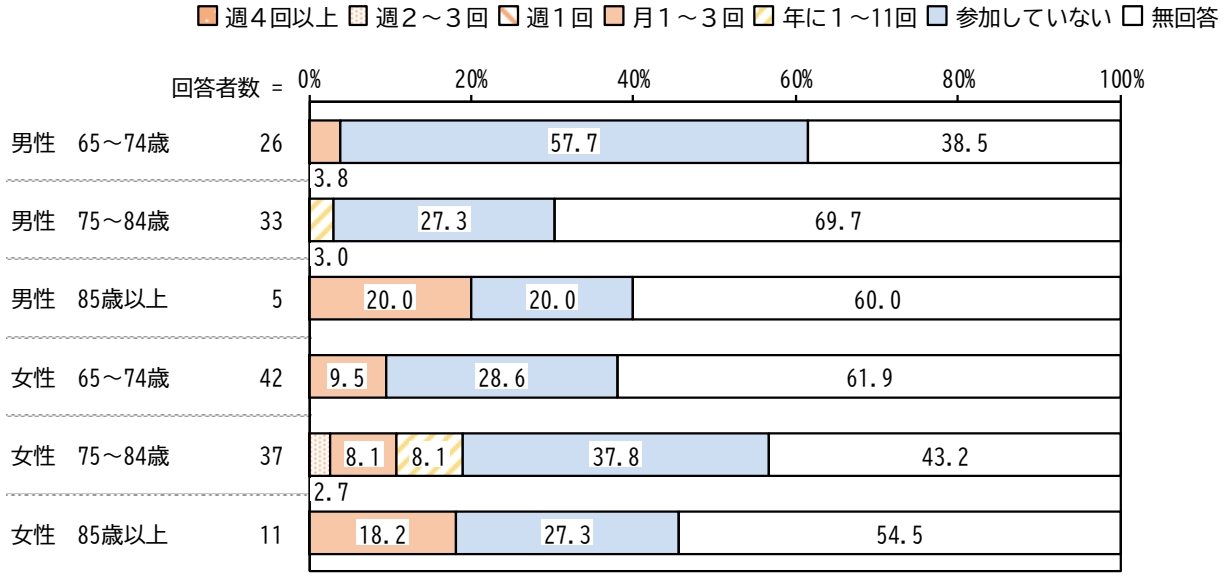
「参加していない」の割合が 35.1%と最も高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

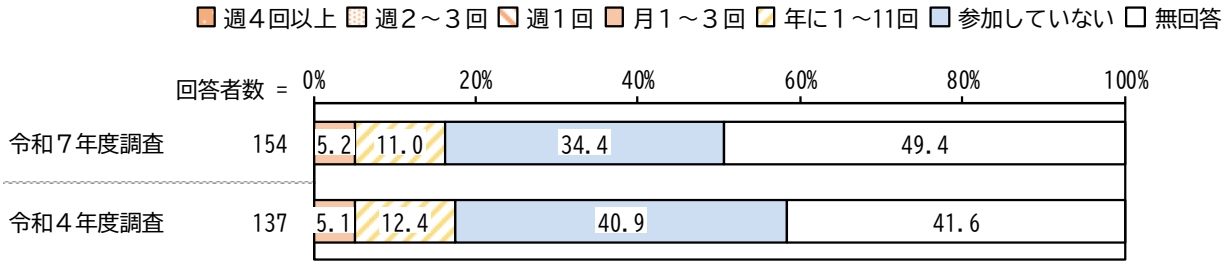
性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑥老人クラブ（シニアクラブ）

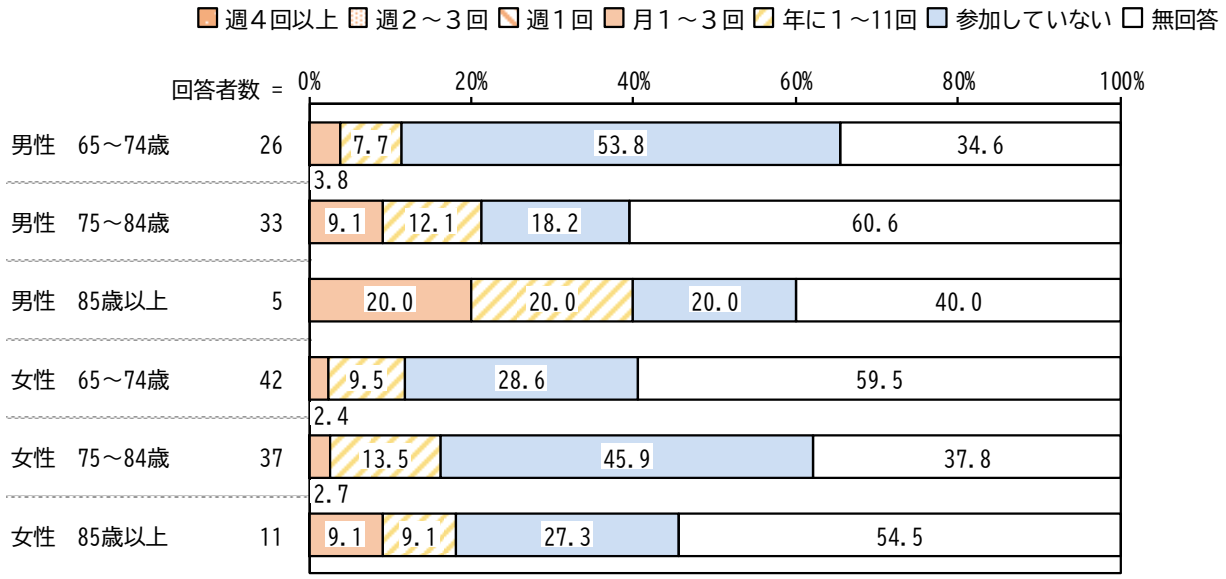
「参加していない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「年に１～11 回」の割合が 11.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



【性・年齢別】

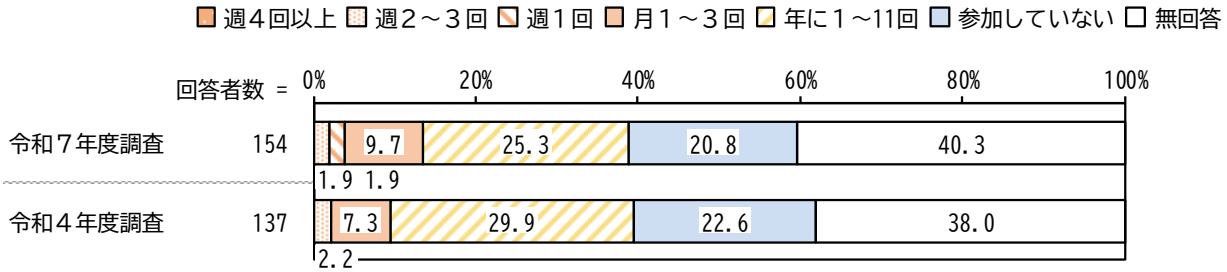
性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑦町内会・自治会

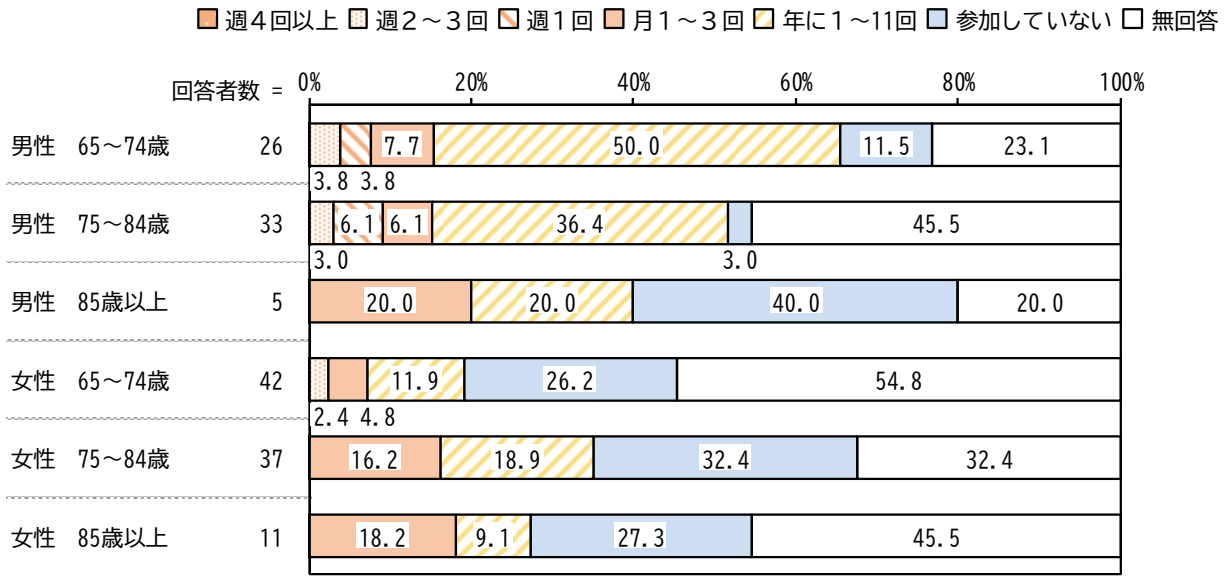
「年に１～11 回」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が 20.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

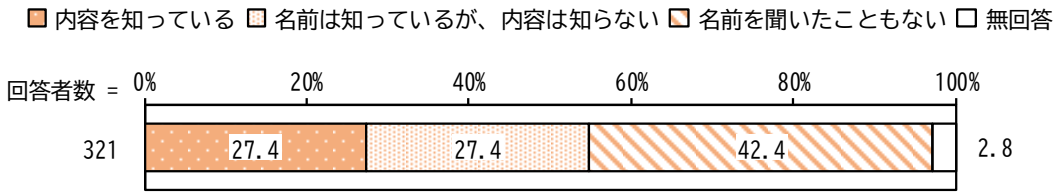
性・年齢別にみると、女性 75～84 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



2　健康・介護予防について

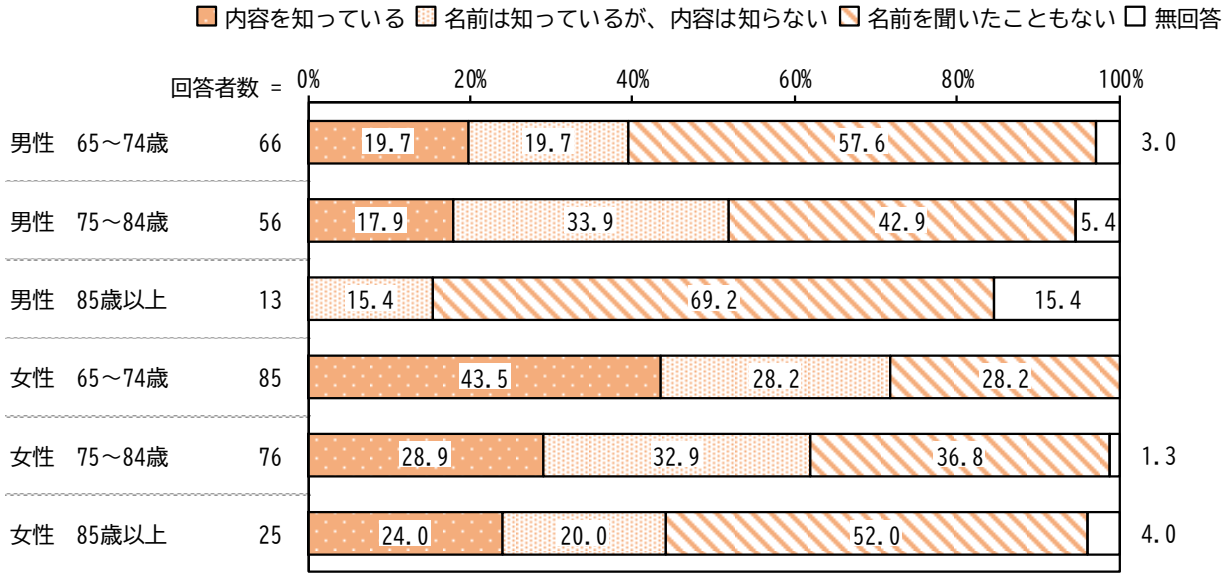
問 48　「フレイル」という言葉を知っていますか。（○は１つ）

「内容を知っている」、「名前は知っているが、内容は知らない」の割合が 27.4%、「名前を聞いたこともない」の割合が 42.4%となっています。



【性・年齢別】

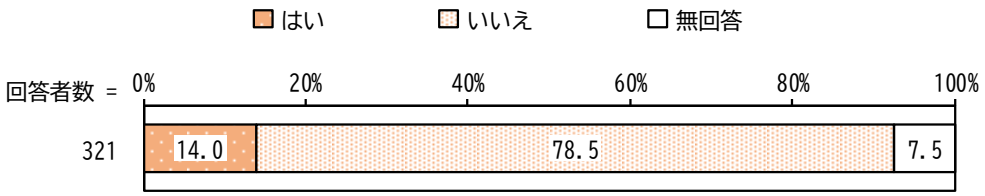
性・年齢別にみると、女性 65～74 歳で「内容を知っている」、男性 85 歳以上で「名前を聞いたこともない」の割合が高くなっています。



3　認知症について

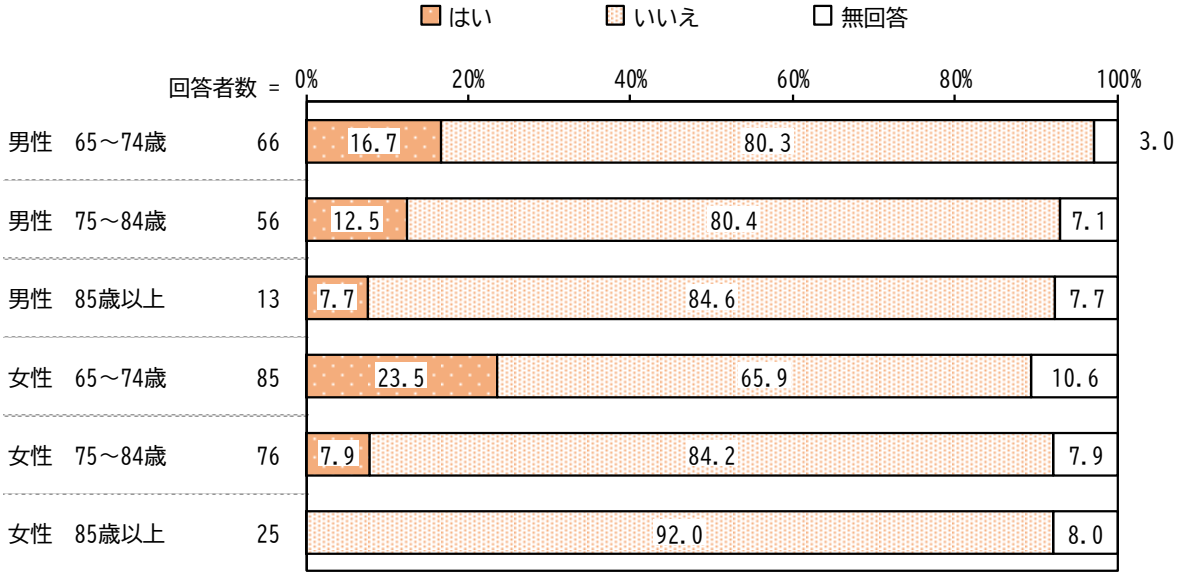
問 64　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

「はい」の割合が 14.0%、「いいえ」の割合が 78.5%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 85 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。

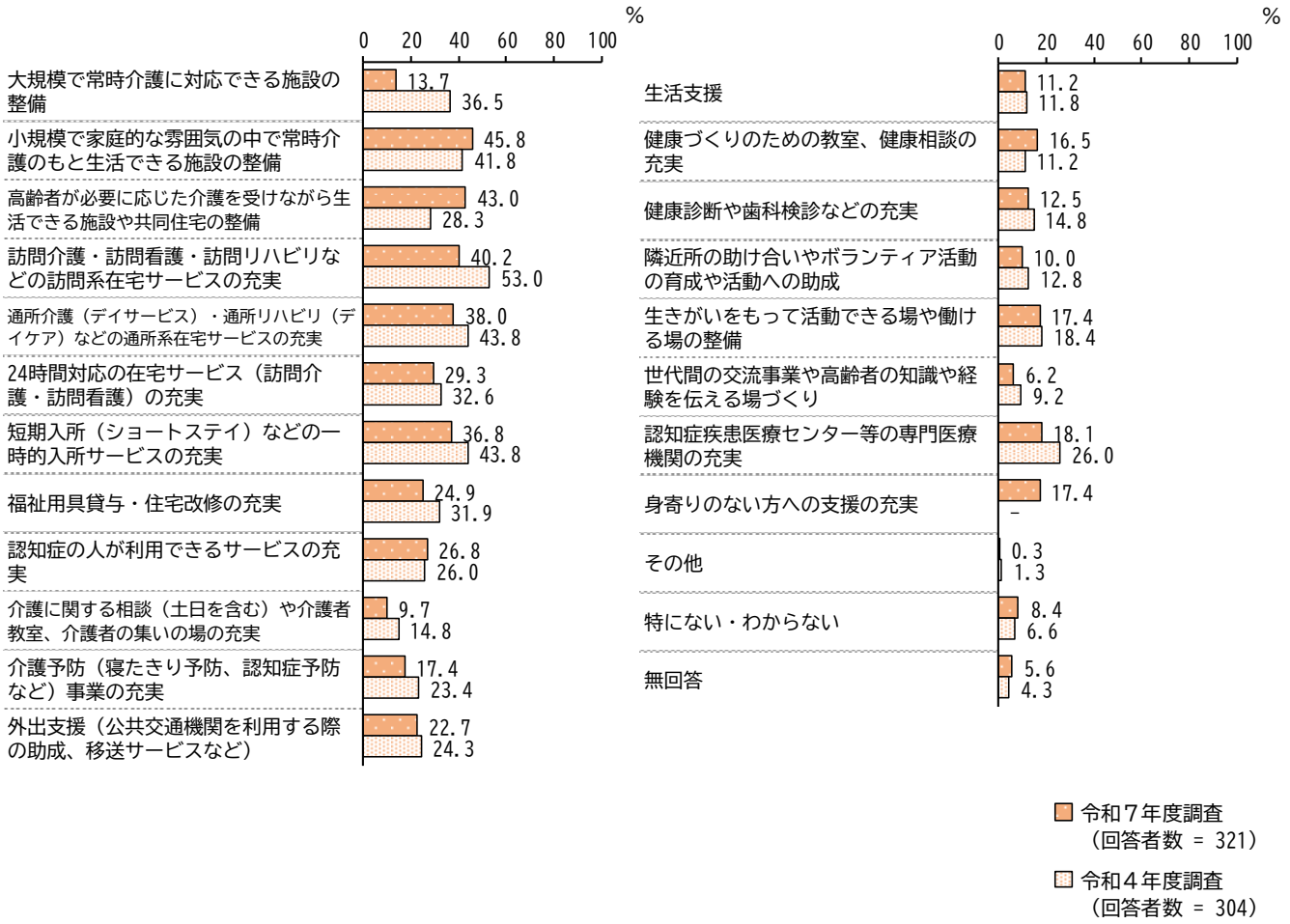


４　高齢者施策について

問 74　今後、介護や高齢者に必要な施策をどのようなものと考えますか。（○はいくつでも）

「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」の割合が 43.0%、「訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなどの訪問系在宅サービスの充実」の割合が 40.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」「健康づくりのための教室、健康相談の充実」の割合が増加しています。一方、「大規模で常時介護に対応できる施設の整備」、「訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなどの訪問系在宅サービスの充実」、「通所介護（デイサービス）・通所リハビリ（デイケア）などの通所系在宅サービスの充実」、「短期入所（ショートステイ）などの一時的入所サービスの充実」、「福祉用具貸与・住宅改修の充実」、「介護に関する相談（土日を含む）や介護者教室、介護者の集いの場の充実」、「介護予防（寝たきり予防、認知症予防など）事業の充実」、「認知症疾患医療センター等の専門医療機関の充実」の割合が減少しています。



※令和４年度調査では、「身寄りのない方への支援の充実」がありませんでした。

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 85 歳以上、女性 75～84 歳で「大規模で常時介護に対応できる施設の整備」、女性 75～84 歳で「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」「認知症疾患医療センター等の専門医療機関の充実」「身寄りのない方への支援の充実」、男性 65～74 歳、女性 65～74 歳で「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」、男性 65～74 歳で「訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなどの訪問系在宅サービスの充実」「福祉用具貸与・住宅改修の充実」「認知症の人が利用できるサービスの充実」「生活支援」「健康診断や歯科検診などの充実」、女性 65～74 歳で「通所介護（デイサービス）・通所リハビリ（デイケア）などの通所系在宅サービスの充実」「24 時間対応の在宅サービス（訪問介護・訪問看護）の充実」「健康づくりのための教室、健康相談の充実」「生きがいをもって活動できる場や働ける場の整備」、女性 85 歳以上で「短期入所（ショートステイ）などの一時的入所サービスの充実」「外出支援（公共交通機関を利用する際の助成、移送サービスなど)」、男性 85 歳以上で「介護に関する相談（土日を含む）や介護者教室、介護者の集いの場の充実」「隣近所の助け合いやボランティア活動の育成や活動への助成」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	大規模で常時介護に対応できる施設の整備	小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備	高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備	訪問介護・訪問看護・訪問リハビリなどの訪問系在宅サービスの充実	通所介護（デイサービス）・通所リハビリ（デイケア）などの通所系在宅サービスの充実	24 時間対応の在宅サービス（訪問介護・訪問看護）の充実	短期入所（ショートステイ）などの一時的入所サービスの充実
全　体	321	13.7	45.8	43.0	40.2	38.0	29.3	36.8
男性　65～74歳	66	18.2	37.9	51.5	54.5	40.9	30.3	42.4
男性　75～84歳	56	7.1	41.1	21.4	39.3	25.0	28.6	17.9
男性　85歳以上	13	23.1	30.8	46.2	15.4	38.5	23.1	23.1
女性　65～74歳	85	7.1	47.1	49.4	42.4	47.1	36.5	37.6
女性　75～84歳	76	22.4	56.6	44.7	34.2	34.2	25.0	43.4
女性　85歳以上	25	8.0	48.0	40.0	28.0	40.0	20.0	48.0

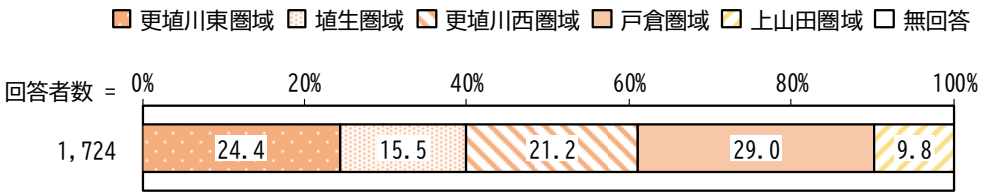
区分	福祉用具貸与・住宅改修の充実	認知症の人が利用できるサービスの充実	介護に関する相談（土日を含む）や介護者教室、介護者の集いの場の充実	介護予防（寝たきり予防、認知症予防など）事業の充実	外出支援（公共交通機関を利用する際の助成、移送サービスなど）	生活支援	健康づくりのための教室、健康相談の充実	健康診断や歯科検診などの充実
全　体	24.9	26.8	9.7	17.4	22.7	11.2	16.5	12.5
男性　65～74歳	33.3	31.8	9.1	18.2	24.2	16.7	15.2	18.2
男性　75～84歳	26.8	23.2	7.1	21.4	17.9	16.1	8.9	8.9
男性　85歳以上	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
女性　65～74歳	22.4	30.6	11.8	20.0	27.1	10.6	23.5	11.8
女性　75～84歳	22.4	28.9	9.2	15.8	22.4	7.9	17.1	14.5
女性　85歳以上	20.0	12.0	8.0	8.0	28.0	4.0	16.0	8.0

区分	隣近所の助け合いやボランティア活動の育成や活動への助成	生きがいをもって活動できる場や働ける場の整備	世代間の交流事業や高齢者の知識や経験を伝える場づくり	認知症疾患医療センター等の専門医療機関の充実	身寄りのない方への支援の充実	その他	特にない・わからない	無回答
全　体	10.0	17.4	6.2	18.1	17.4	0.3	8.4	5.6
男性　65～74歳	9.1	19.7	7.6	15.2	10.6	1.5	12.1	3.0
男性　75～84歳	10.7	16.1	5.4	16.1	19.6	0.0	10.7	10.7
男性　85歳以上	15.4	0.0	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0	23.1
女性　65～74歳	14.1	24.7	5.9	17.6	18.8	0.0	8.2	1.2
女性　75～84歳	6.6	14.5	5.3	23.7	23.7	0.0	1.3	5.3
女性　85歳以上	4.0	8.0	8.0	16.0	8.0	0.0	20.0	8.0

2　居宅要介護・要支援認定者等

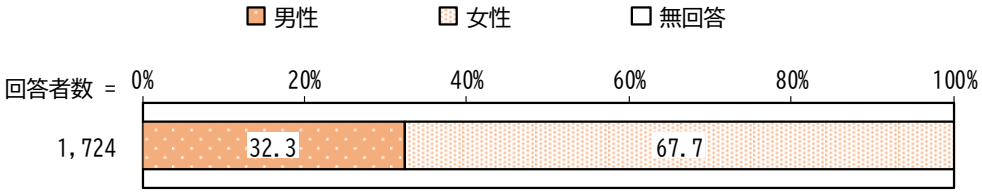
■日常生活圏域（居住地区）

「戸倉圏域」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「更埴川東圏域」の割合が 24.4%、「更埴川西圏域」の割合が 21.2%となっています。



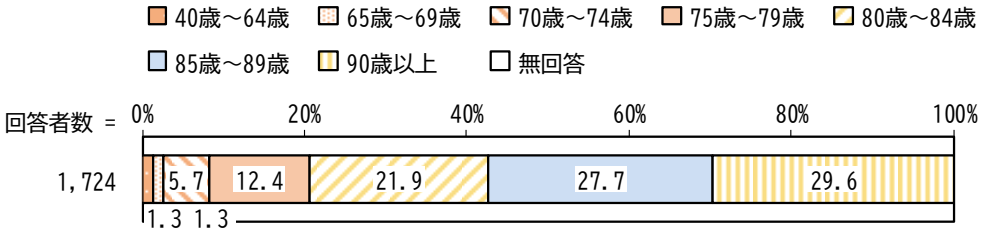
■性別

「男性」の割合が 32.3%、「女性」の割合が 67.7%となっています。



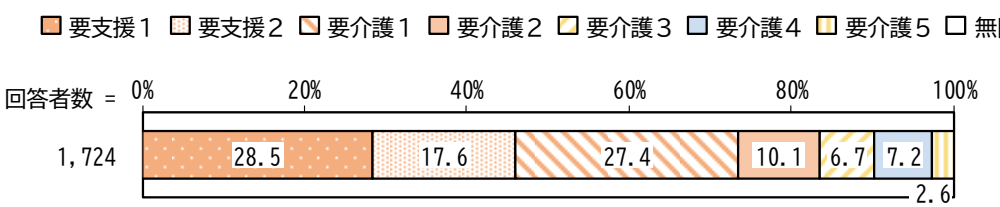
■年齢

「90 歳以上」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「85 歳～89 歳」の割合が 27.7%、「80 歳～84 歳」の割合が 21.9%となっています。



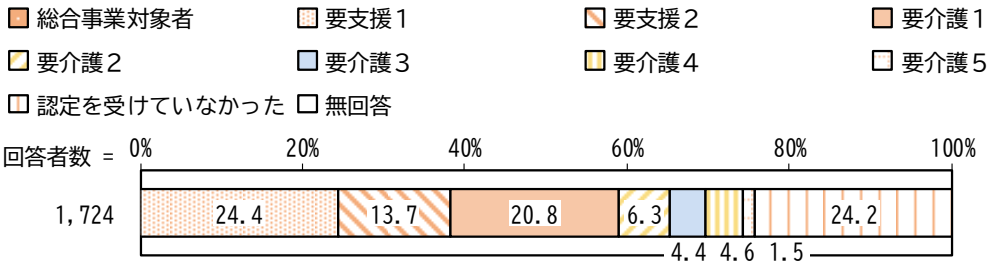
■要介護度

「要支援１」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「要介護１」の割合が 27.4%、「要支援２」の割合が 17.6%となっています。



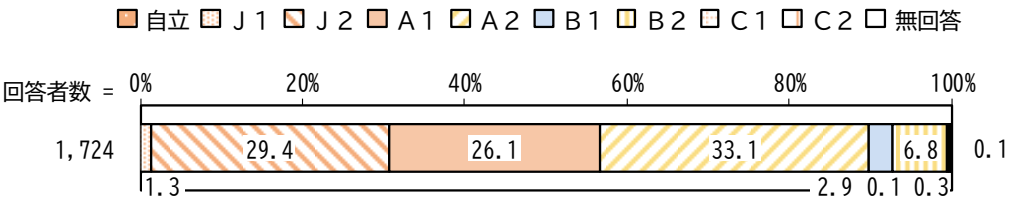
■１年前の要介護度

「要支援１」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「認定を受けていなかった」の割合が 24.2%、「要介護１」の割合が 20.8%となっています。



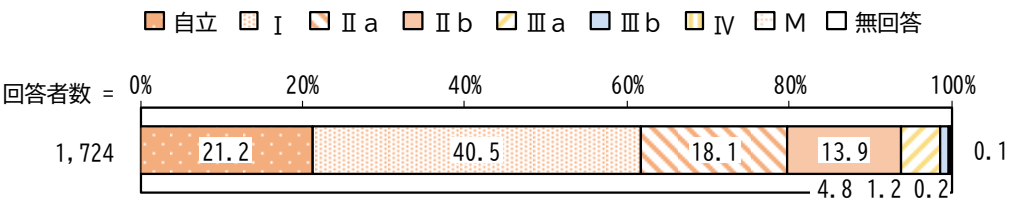
■障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）

「Ａ２」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「Ｊ２」の割合が 29.4%、「Ａ１」の割合が 26.1%となっています。



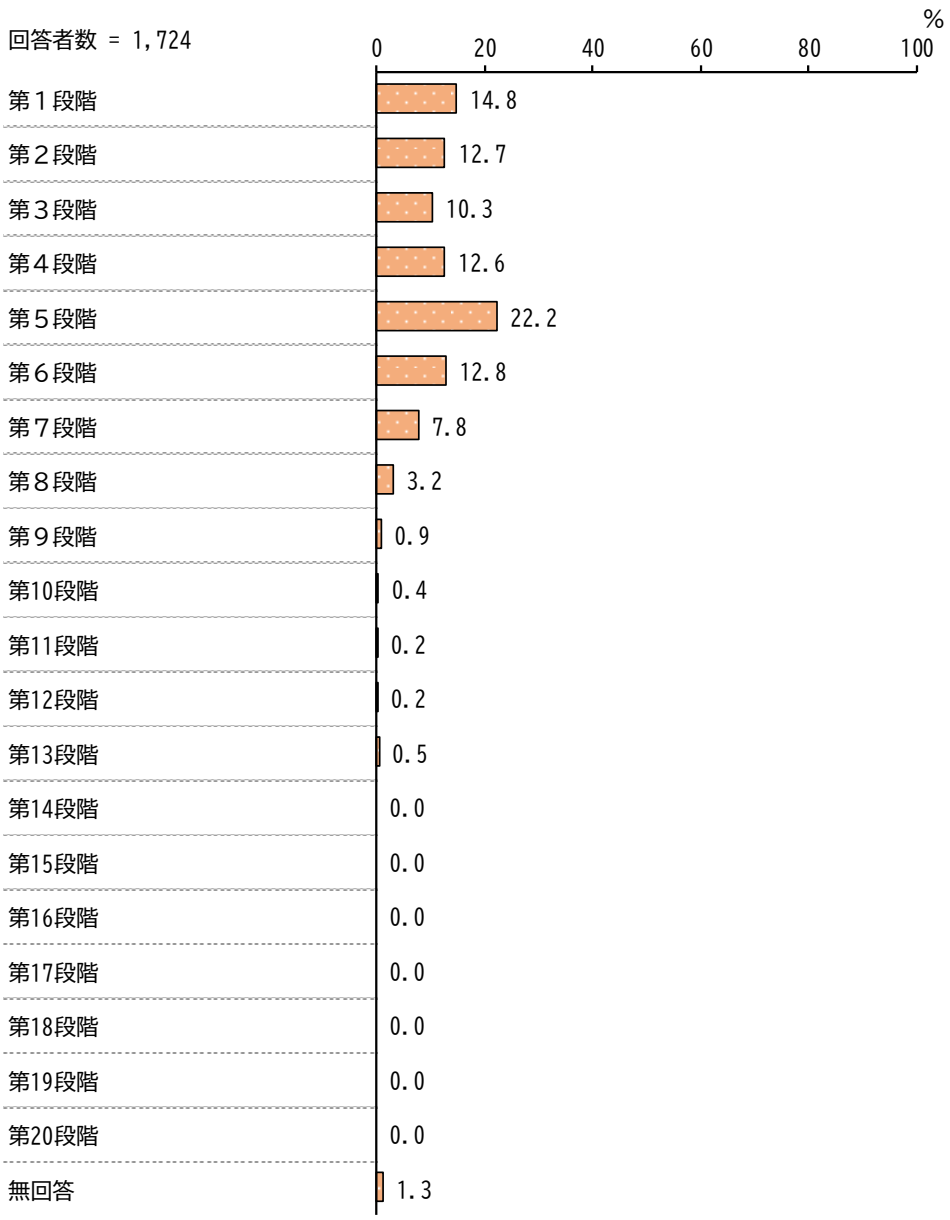
■認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅰ」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「自立」の割合が 21.2%、「Ⅱａ」の割合が 18.1%となっています。



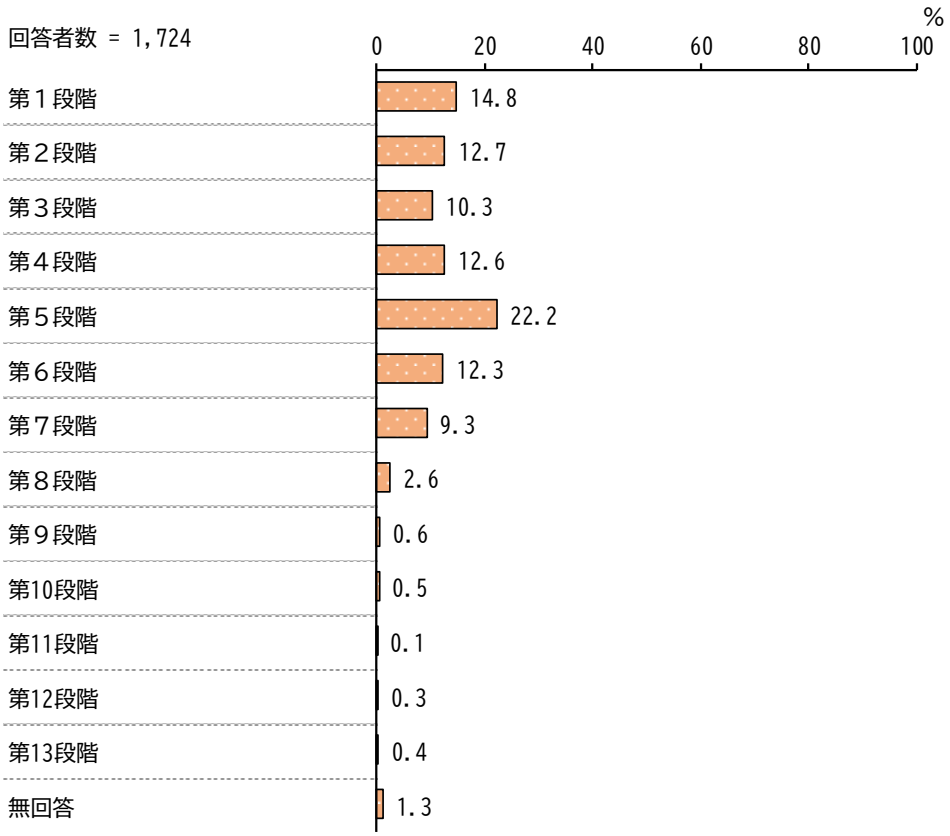
■各保険者の第一号保険料の所得段階

「第５段階」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「第１段階」の割合が 14.8%、「第６段階」の割合が 12.8%となっています。



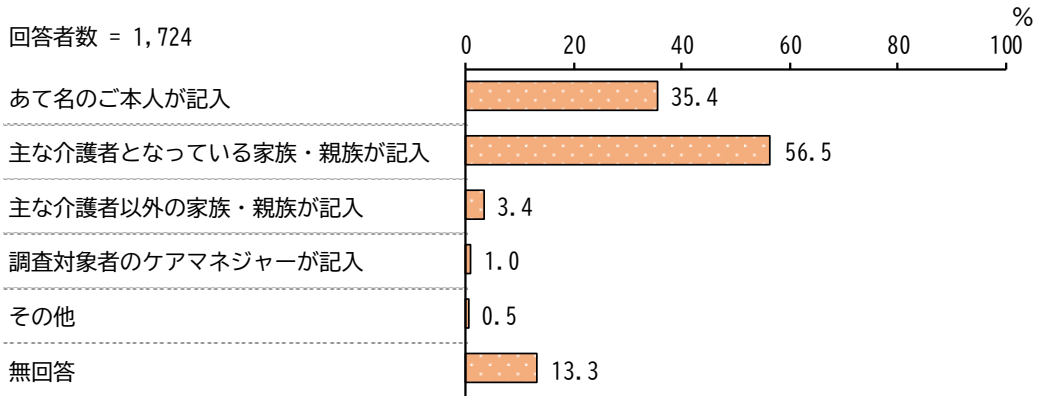
■第一号保険料の標準所得段階

「第５段階」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「第１段階」の割合が 14.8%、「第２段階」の割合が 12.7%となっています。



■調査票の記入者

「主な介護者となっている家族・親族が記入」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「あて名のご本人が記入」の割合が 35.4%となっています。

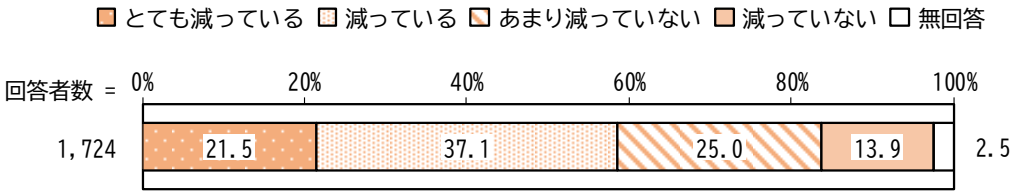


1　からだを動かすことについて

問６　からだを動かすことについて教えてください。（○は１つずつ）

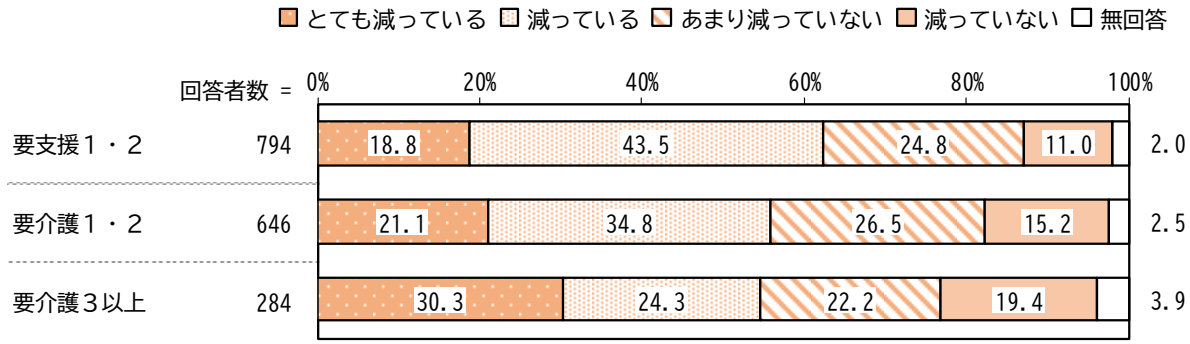
⑦昨年と比べて外出の回数が減っているか

「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が 58.6%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が 38.9%となっています。



【要介護度別】

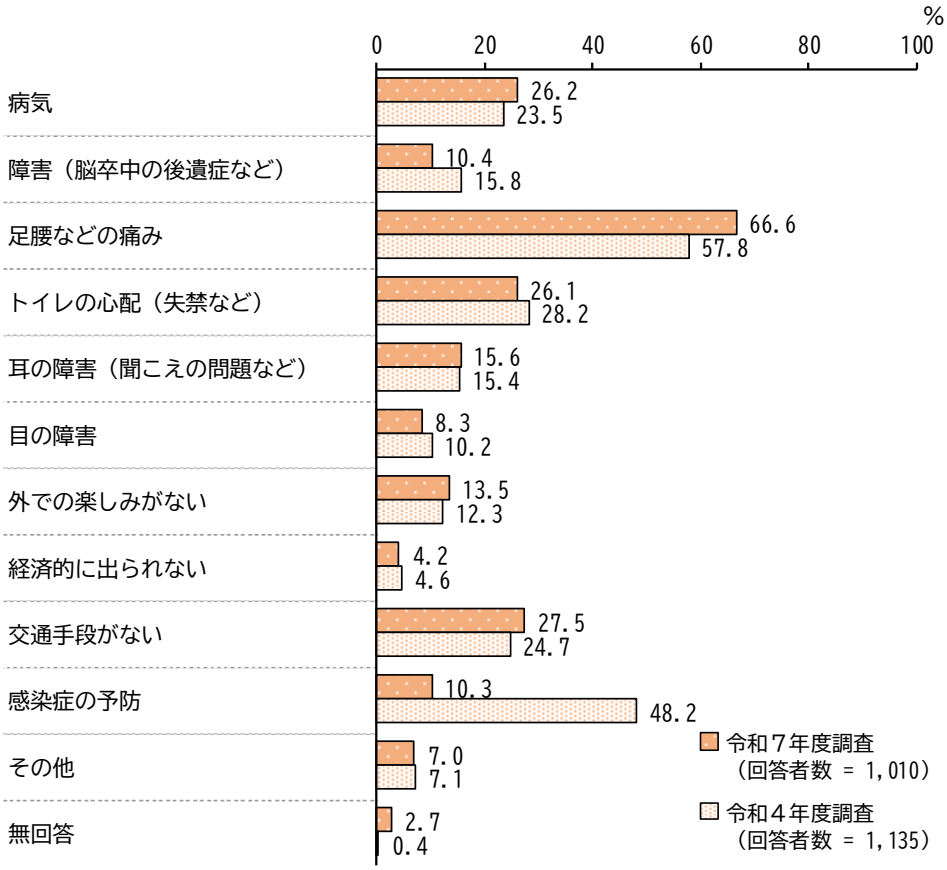
要介護度別にみると、要介護３以上で「とても減っている」「減っていない」、要支援１・２で「減っている」の割合が高くなっています。



⑦－１　外出が減っている（控えている）理由

「足腰などの痛み」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が 27.5%、「病気」の割合が 26.2%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」の割合が増加しています。一方、「障害（脳卒中の後遺症など）」「感染症の予防」の割合が減少しています。



※令和４年度調査では、「感染症の予防」が「新型コロナウイルス感染症の感染予防」となっていました。

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護３以上で「病気」「障害（脳卒中の後遺症など）」、要支援１・２で「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。

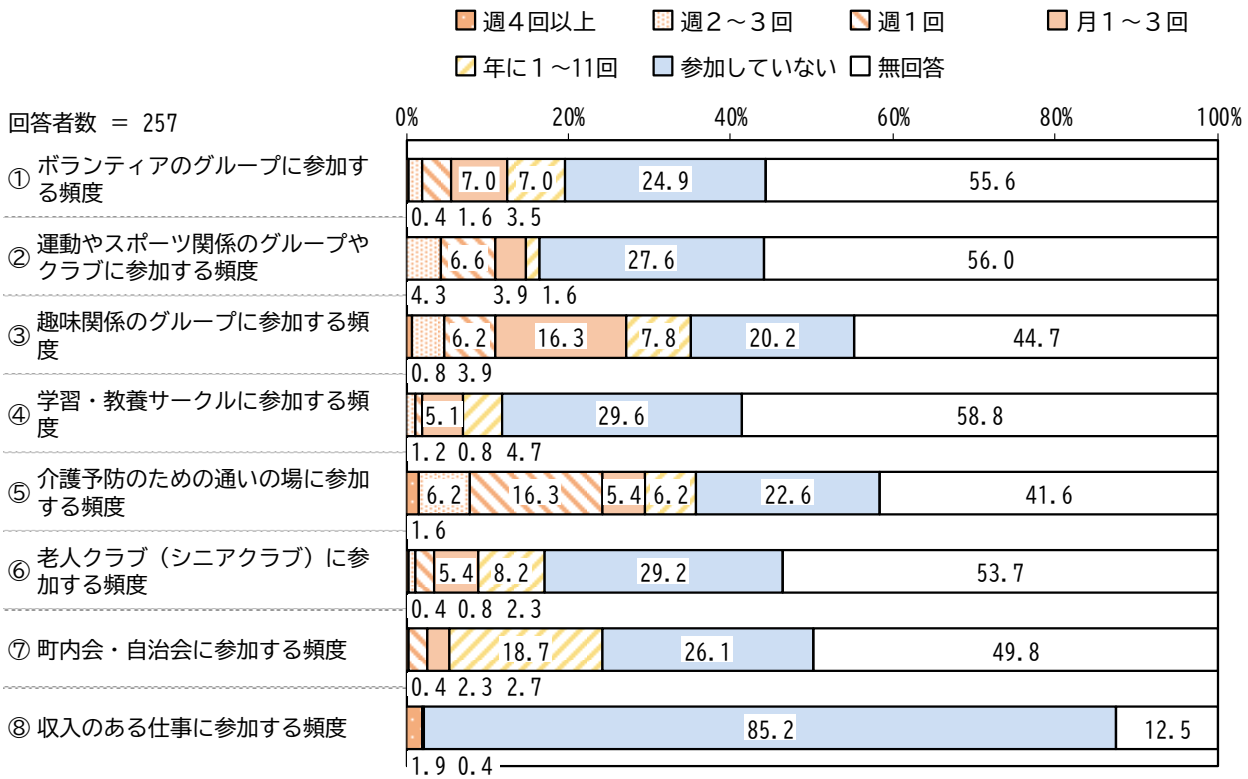
単位：%

区分	回答者数（件）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	感染症の予防	その他	無回答
全　体	1,010	26.2	10.4	66.6	26.1	15.6	8.3	13.5	4.2	27.5	10.3	7.0	2.7
要支援１・２	494	18.2	6.3	75.3	25.3	18.2	8.7	14.2	5.3	31.0	11.7	4.7	2.4
要介護１・２	361	29.4	10.2	63.4	26.9	15.2	7.5	15.5	2.8	27.1	10.0	7.2	3.0
要介護３以上	155	44.5	23.9	46.5	27.1	8.4	9.0	6.5	3.9	17.4	6.5	14.2	2.6

2　地域での活動について

問 16－１　地域の会やグループに参加していますか。（○は１つずつ）

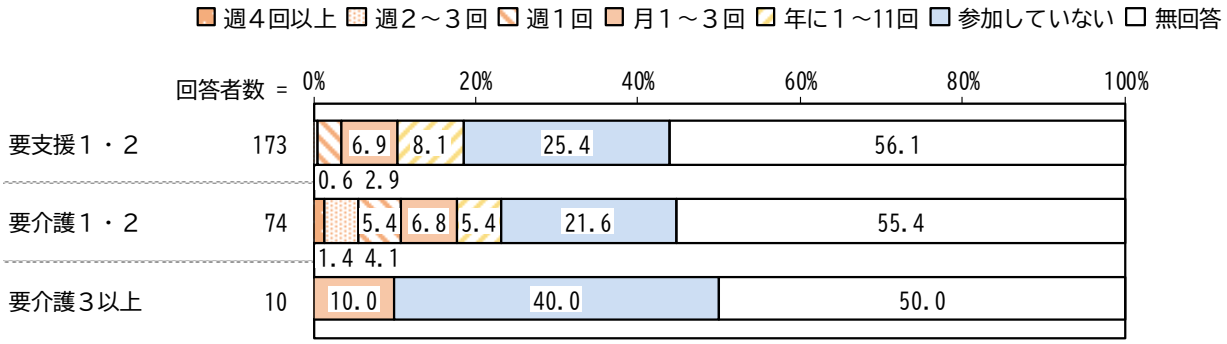
『⑧収入のある仕事に参加する頻度』で「週４回以上」「参加していない」が、『⑤介護予防のための通いの場に参加する頻度』で「週２～３回」「週１回」が、『③趣味関係のグループに参加する頻度』で「月１～３回」が、『⑦町内会・自治会に参加する頻度』で「年に１～11 回」が高くなっています。



①ボランティアのグループに参加する頻度

【要介護度別】

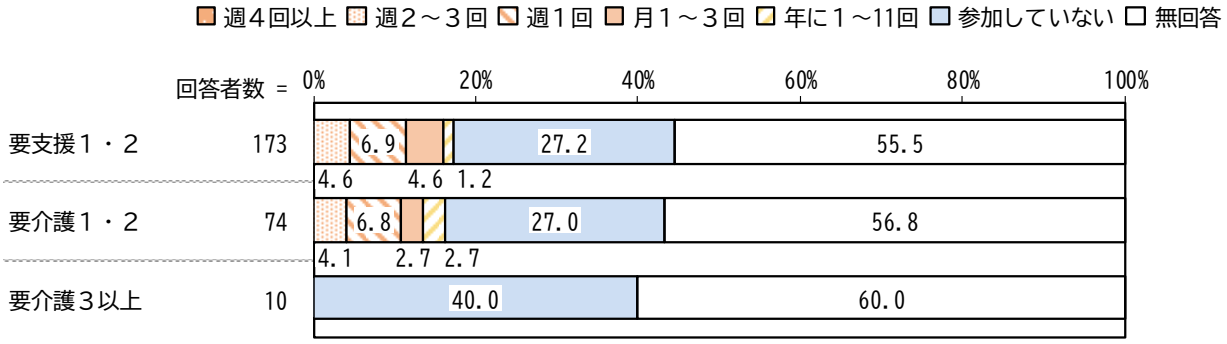
要介護度別にみると、要介護３以上で「参加していない」の割合が高くなっています。



②運動やスポーツ関係のグループやクラブに参加する頻度

【要介護度別】

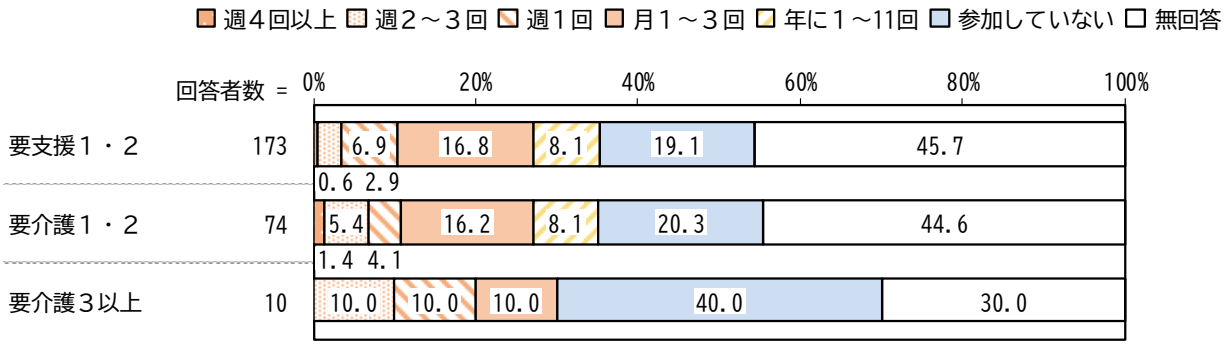
要介護度別にみると、要介護３以上で「参加していない」の割合が高くなっています。



③趣味関係のグループに参加する頻度

【要介護度別】

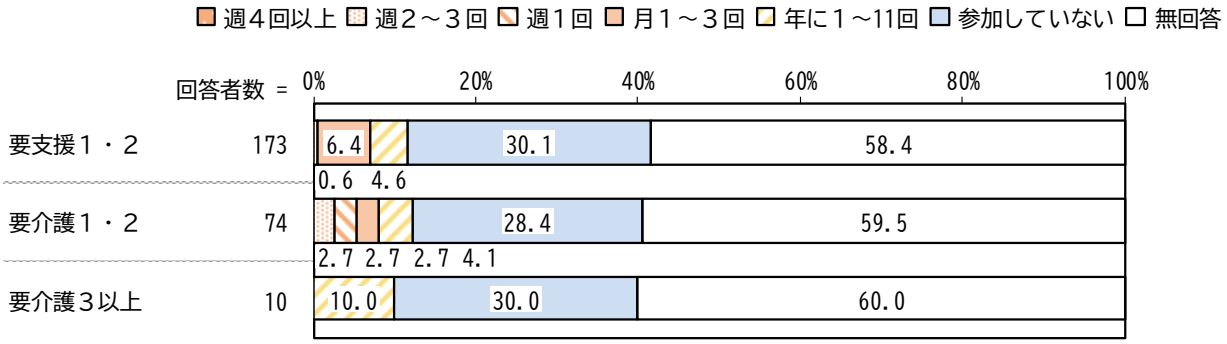
要介護度別にみると、要介護３以上で「参加していない」の割合が高くなっています。



④学習・教養サークルに参加する頻度

【要介護度別】

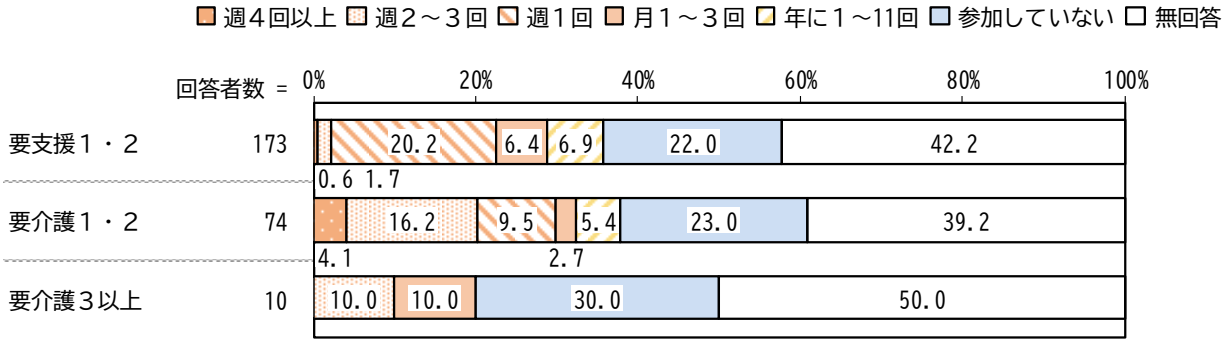
要介護度別にみると、要介護３以上で「年に１～11 回」の割合が高くなっています。



⑤介護予防のための通いの場に参加する頻度

【要介護度別】

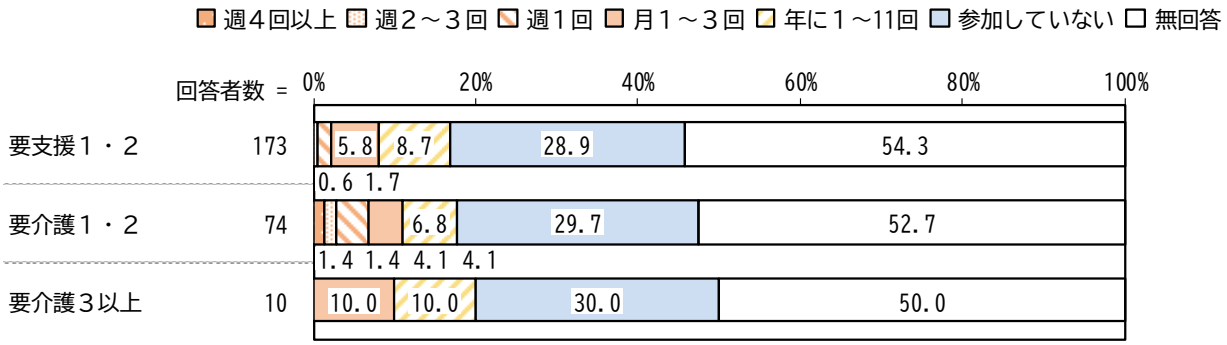
要介護度別にみると、要介護３以上で“週に１回以上”の割合が低くなっています。



⑥老人クラブ（シニアクラブ）に参加する頻度

【要介護度別】

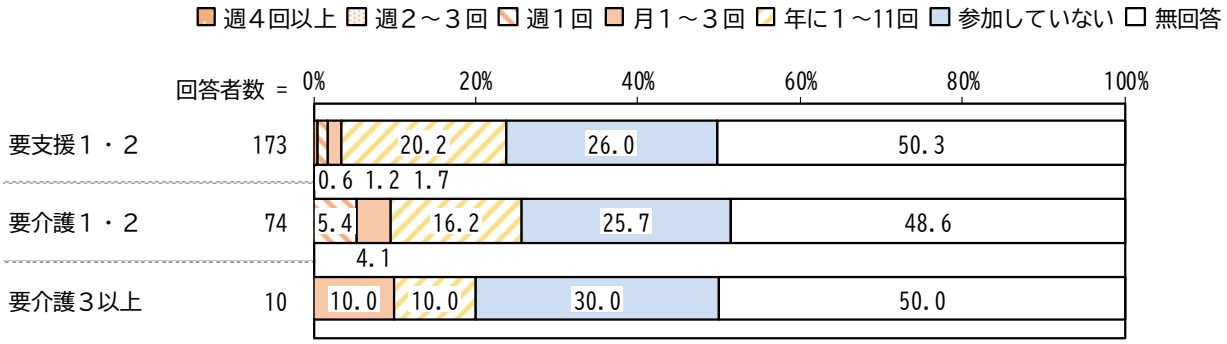
要介護度別にみると、大きな差はみられません。



⑦町内会・自治会に参加する頻度

【要介護度別】

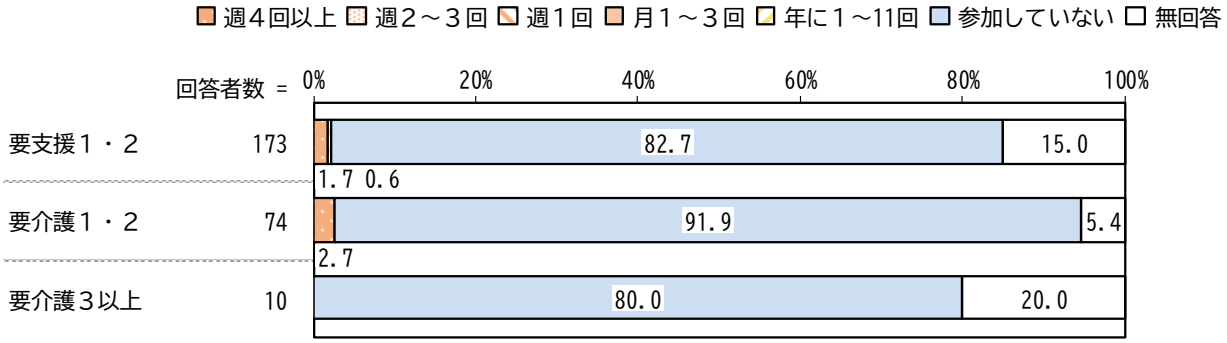
要介護度別にみると、要介護３以上で「月１～３回」の割合が高く、「年に１～11 回」の割合が低くなっています。



⑧収入のある仕事に参加する頻度

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護１・２で「参加していない」の割合が高くなっています。

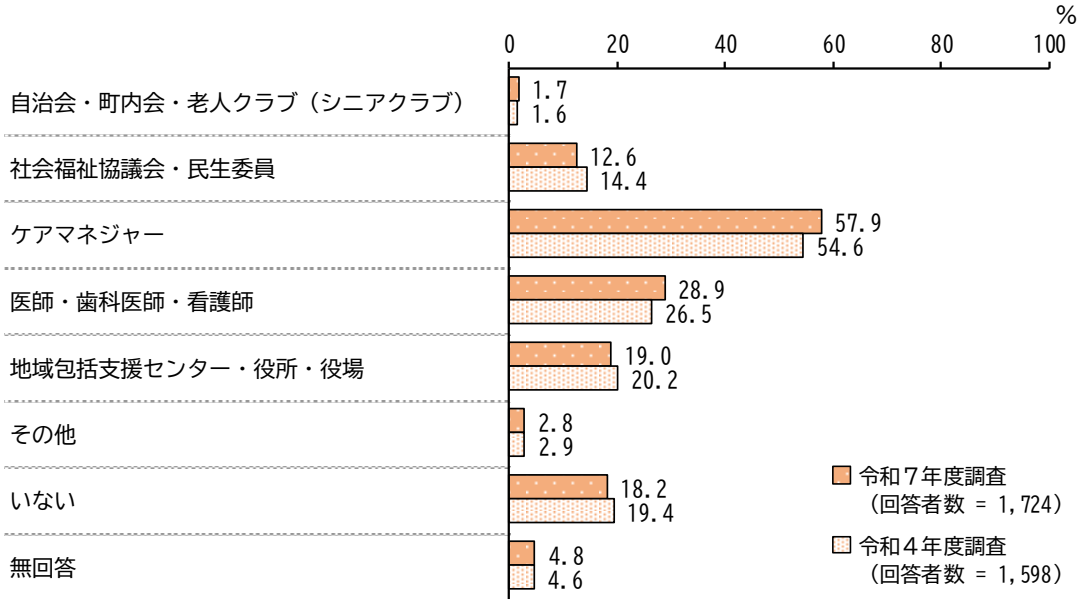


3　助け合いについて

問 21　家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手はどなた（どこ）ですか。（○はいくつでも）

「ケアマネジャー」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 28.9%、「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が 19.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護３以上で「ケアマネジャー」、要支援１・２で「地域包括支援センター・役所・役場」の割合が高くなっています。

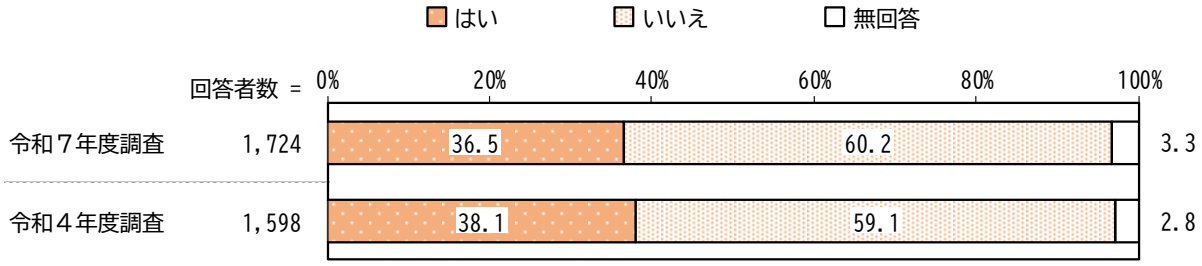
単位：%

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・老人クラブ（シニアクラブ）	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	いない	無回答
全　体	1,724	1.7	12.6	57.9	28.9	19.0	2.8	18.2	4.8
要支援１・２	794	2.3	16.4	43.7	28.5	27.2	2.1	20.2	6.4
要介護１・２	646	1.2	10.2	68.0	27.2	11.8	3.7	17.5	4.0
要介護３以上	284	1.1	7.7	74.6	33.8	12.7	2.8	14.1	2.1

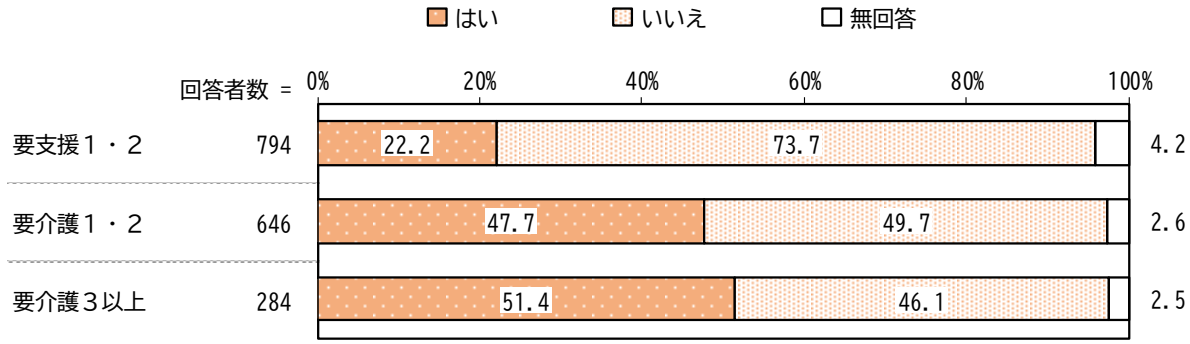
４　認知症について

問 41　現在、認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は１つ）

「はい」の割合が 36.5%、「いいえ」の割合が 60.2%となっています。
令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

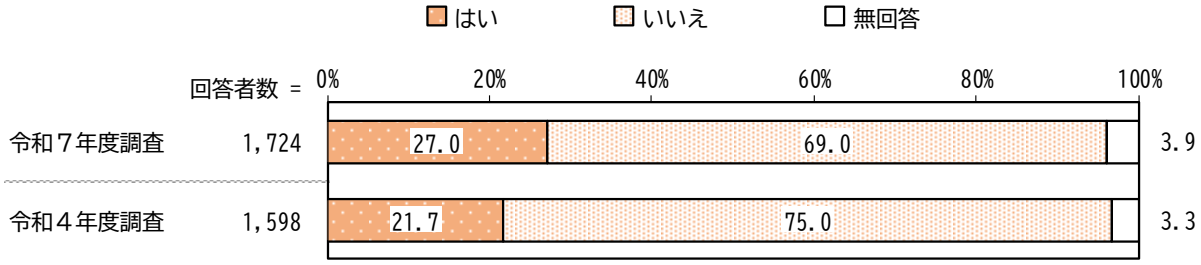


【要介護度別】
要介護度別にみると、要介護３以上で「はい」、要支援１・２で「いいえ」の割合が高くなっています。



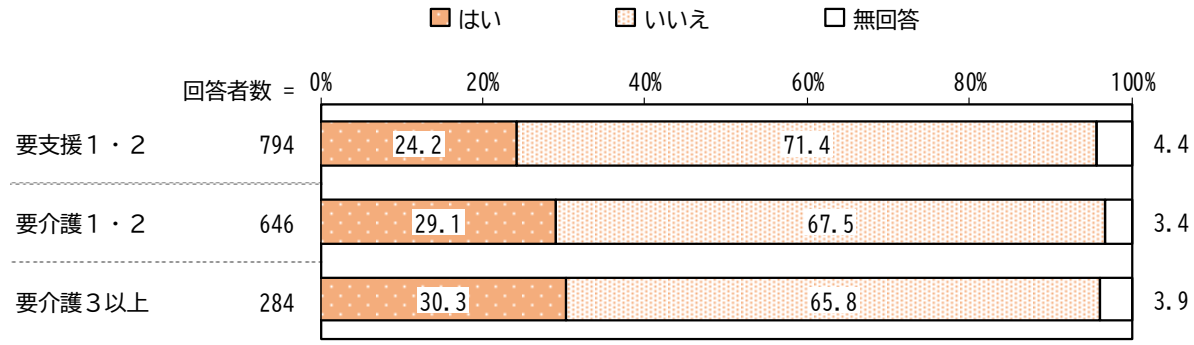
問 42　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は１つ）

「はい」の割合が 27.0%、「いいえ」の割合が 69.0%となっています。
令和４年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



【要介護度別】

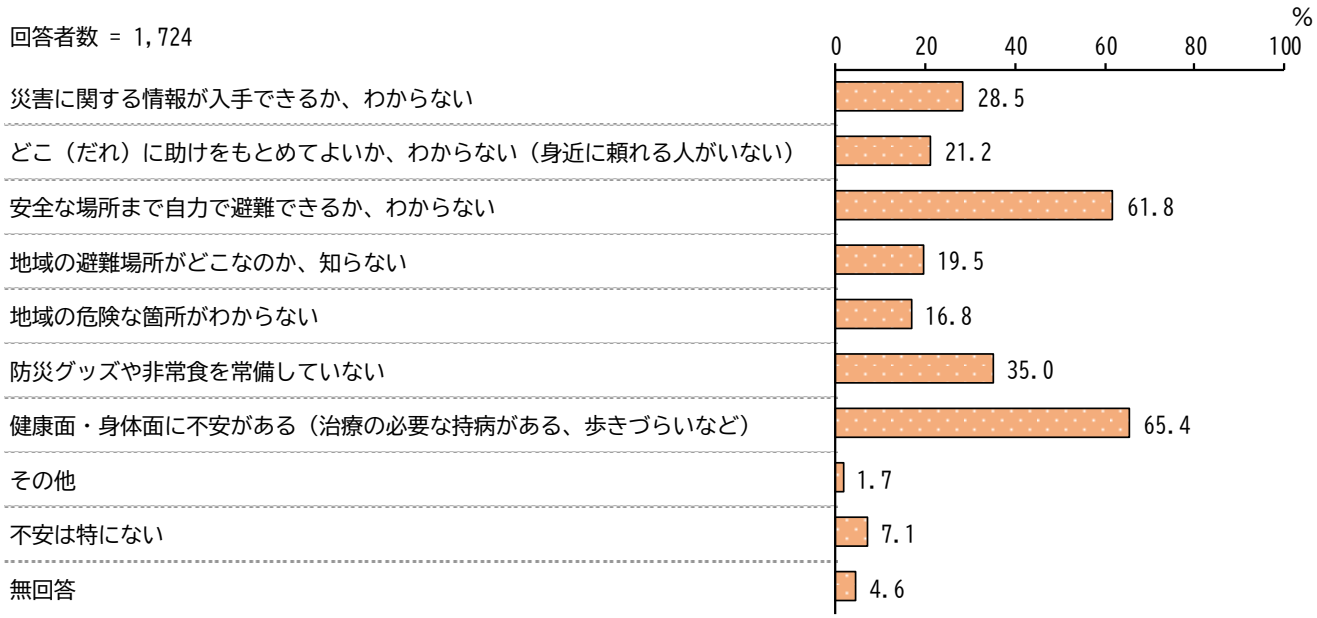
要介護度別にみると、大きな差はみられません。



5　安心・安全の地域づくりについて

問 46　地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。（〇はいくつでも）

「健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「安全な場所まで自力で避難できるか、わからない」の割合が 61.8%、「防災グッズや非常食を常備していない」の割合が 35.0%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

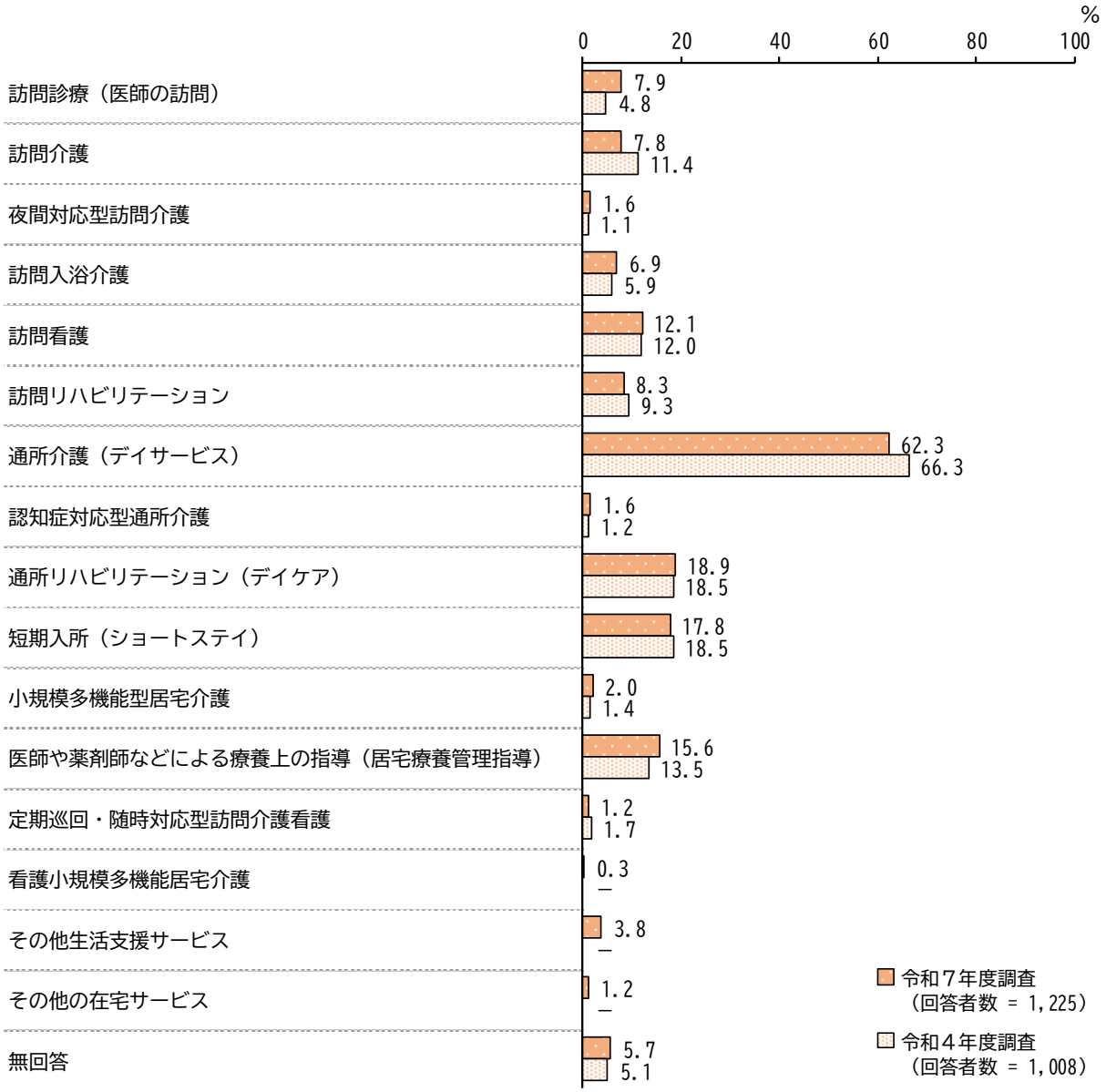
区分	回答者数（件）	災害に関する情報が入手できるか、わからない	どこ（だれ）に助けをもとめてよいか、わからない（身近に頼れる人がいない）	安全な場所まで自力で避難できるか、わからない	地域の避難場所がどこなのか、知らない	地域の危険な箇所がわからない	防災グッズや非常食を常備していない	健康面・身体面に不安がある（治療の必要な持病がある、歩きづらいなど）	その他	不安は特にない	無回答
全　体	1,724	28.5	21.2	61.8	19.5	16.8	35.0	65.4	1.7	7.1	4.6
要支援１・２	794	28.5	21.2	62.2	18.5	15.7	39.0	66.5	1.9	5.9	6.3
要介護１・２	646	29.1	21.2	60.7	23.2	19.3	33.6	65.5	1.9	7.6	3.1
要介護３以上	284	27.1	21.1	63.4	14.1	14.1	27.1	62.3	1.1	9.5	3.5

6　介護の状況について

問 51－１　利用している在宅サービスは何ですか。（○はいくつでも）

「通所介護（デイサービス）」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が 18.9%、「短期入所（ショートステイ）」の割合が 17.8%となっています。

令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和４年度調査では、「看護小規模多機能居宅介護」、「その他生活支援サービス」、「その他の在宅サービス」がありませんでした。

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護３以上で「訪問診療（医師の訪問）」「訪問介護」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「短期入所（ショートステイ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	訪問診療（医師の訪問）	訪問介護	夜間対応型訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護
全　体	1,225	7.9	7.8	1.6	6.9	12.1	8.3	62.3	1.6
要支援１・２	440	4.3	4.8	0.9	4.1	5.2	4.5	50.0	0.7
要介護１・２	527	4.7	5.1	0.9	5.7	9.9	5.9	70.0	2.3
要介護３以上	258	20.5	18.2	4.3	14.3	28.3	19.8	67.4	1.9

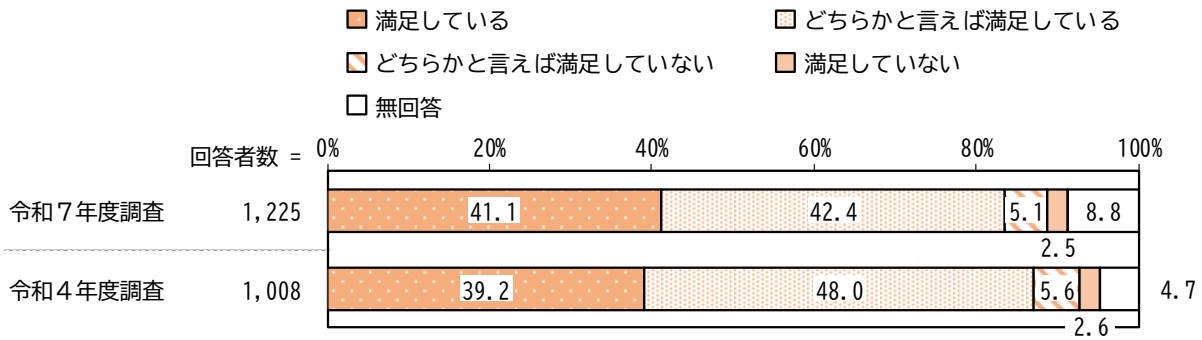
区分	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所（ショートステイ）	小規模多機能型居宅介護	医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	看護小規模多機能居宅介護	その他生活支援サービス	その他の在宅サービス	無回答
全　体	18.9	17.8	2.0	15.6	1.2	0.3	3.8	1.2	5.7
要支援１・２	24.8	3.4	1.4	14.8	0.9	0.2	5.0	1.1	9.5
要介護１・２	17.5	21.1	1.3	12.9	0.8	0.4	3.6	0.8	4.0
要介護３以上	11.6	35.7	4.7	22.5	2.7	0.4	2.3	2.3	2.7

問 51 で「1　利用している」とお答えの方におたずねします。

問 51－２　利用している介護保険サービスに満足していますか。（○は１つ）

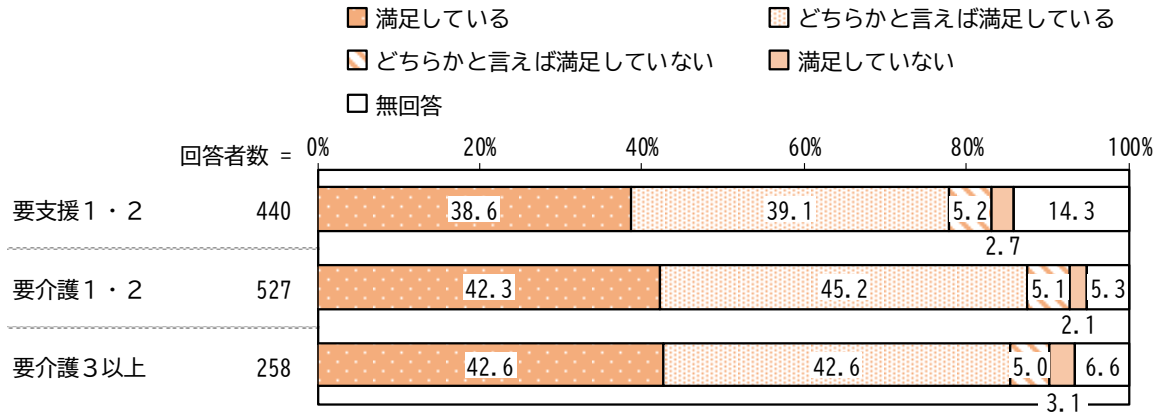
「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせた“満足している”の割合が 83.5%、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が 7.6%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「どちらかと言えば満足している」の割合が減少しています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援１・２で“満足している”の割合が低くなっています。

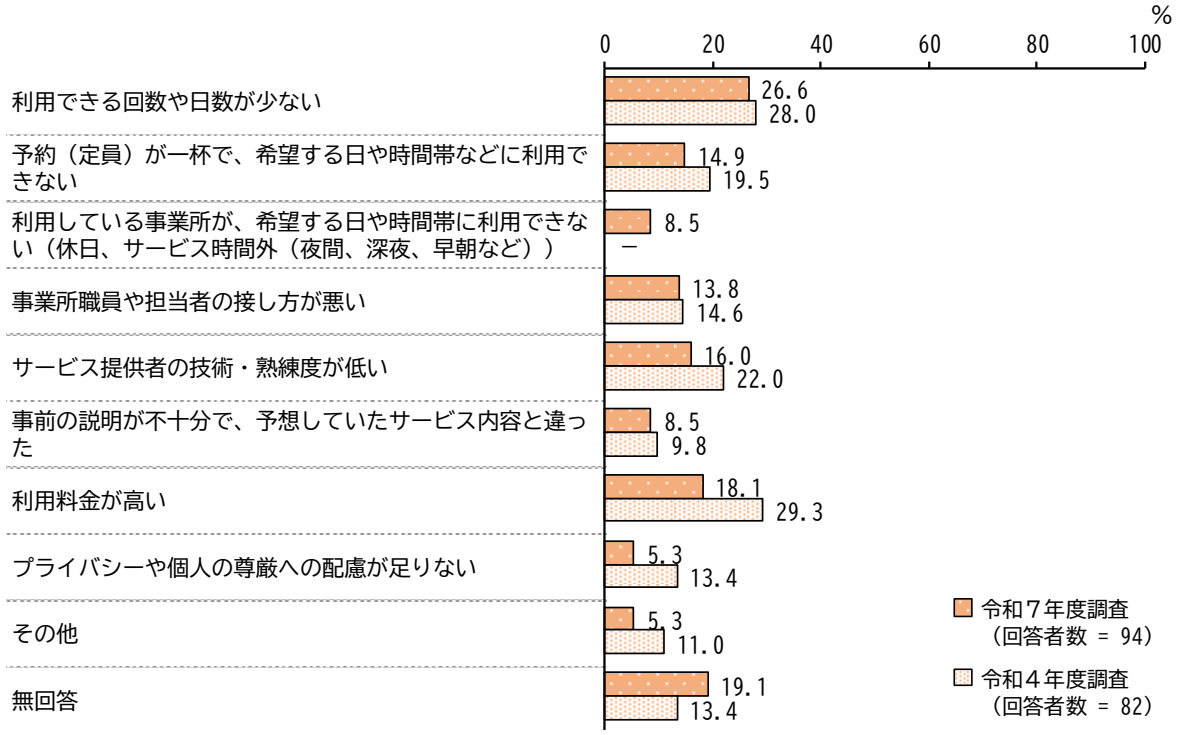


問 51-2で「3　どちらかと言えば満足していない」、「4　満足していない」とお答えの方におたずねします。

問 51－2－2　どのようなところが不満ですか。（○は3つまで）

「利用できる回数や日数が少ない」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「利用料金が高い」の割合が 18.1%、「サービス提供者の技術・熟練度が低い」の割合が 16.0%となっています。

令和４年度調査と比較すると、「サービス提供者の技術・熟練度が低い」「利用料金が高い」「プライバシーや個人の尊厳への配慮が足りない」の割合が減少しています。



※令和４年度調査では、「利用している事業所が、希望する日や時間帯に利用できない（休日、サービス時間外（夜間、深夜、早朝など））」がありませんでした。

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護３以上で「利用している事業所が、希望する日や時間帯に利用できない（休日、サービス時間外（夜間、深夜、早朝など））」「事業所職員や担当者の接し方が悪い」「利用料金が高い」、要介護１・２、要介護３以上で「サービス提供者の技術・熟練度が低い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	利用できる回数や日数が少ない	予約（定員）が一杯で、希望する日や時間帯などに利用できない	利用している事業所が、希望する日や時間帯に利用できない（休日、サービス時間外（夜間、深夜、早朝など））	事業所職員や担当者の接し方が悪い	サービス提供者の技術・熟練度が低い
全　体	94	26.6	14.9	8.5	13.8	16.0
要支援１・２	35	31.4	14.3	2.9	11.4	5.7
要介護１・２	38	21.1	18.4	10.5	13.2	21.1
要介護３以上	21	28.6	9.5	14.3	19.0	23.8

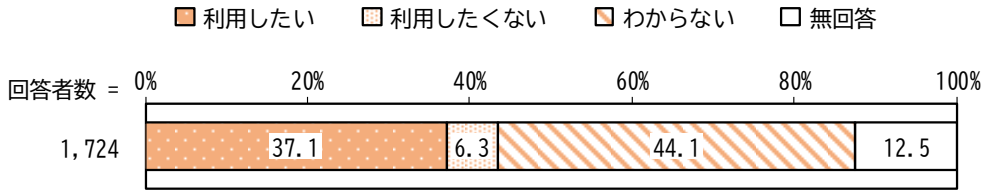
区分	事前の説明が不十分で、予想していたサービス内容と違った	利用料金が高い	プライバシーや個人の尊厳への配慮が足りない	その他	無回答
全　体	8.5	18.1	5.3	5.3	19.1
要支援１・２	11.4	11.4	2.9	5.7	22.9
要介護１・２	7.9	15.8	7.9	7.9	15.8
要介護３以上	4.8	33.3	4.8	0.0	19.0

7　高齢者施策について

問 60　以下の介護保険サービスは、県内ではあまり実施されていませんが、これらのサービスが利用できるとしたら、利用したいと思いますか。（それぞれ○は１つ）

④小規模多機能型居宅介護の利用意向

「利用したい」の割合が 37.1%、「利用したくない」の割合が 6.3%となっています。



【要介護度別】

要介護度別にみると、大きな差はみられません。

